

2026 年 1 月 19 日

報道関係各位

美大生が創る“イノベーション”を体感する 3 日間

武蔵野美術大学 市ヶ谷キャンパス 卒業・修了展 1 月 30 日（金）から開催！

武蔵野美術大学（所在地：東京都小平市／学長：樺山祐和）は、2026 年 1 月 30 日（金）から 2 月 1 日（日）まで、市ヶ谷キャンパス（東京都新宿区）にて、「2025 年度卒業・修了展」を開催します。



2019 年に開設したクリエイティブイノベーション学科（以下、CI 学科）および大学院造形構想研究科 クリエイティブリーダーシップコース（以下、CL コース）の 100 名を超える学生の作品と研究成果を展示します。本展は 2022 年度から市ヶ谷キャンパスで開催されており、今回で 4 回目の開催となります。

【造形構想学部 CI 学科および造形構想研究科 CL コースについて】

2019 年に開設された CI 学科および CL コースは、アートやデザインの造形行為から育まれる「創造的思考力」を基盤に、社会課題の解決や新たな価値創造を目指す革新的な教育カリキュラムです。企業や地域社会と連携した実践的なプロジェクトを通じて、時代の変革を担う創造的リーダーを育成し、社会へ輩出しています。本学では、この新しい学びの体系を「Institute of Innovation」と称しています。

【ビジュアルコンセプトについて】

「この手で、ほどこ、結ぶ、新しいカタチ」

私たちは、思考と実践を繰り返すことで「ほどく」と「結ぶ」を繰り返し、無数の「結び目」を作って

きました。そうして作られた作品たちは私たちと社会や、人と人の「結び目」となっています。

本年度の卒業・修了展のテーマ「結び目」は、私たちの思考と実践の軌跡そのものであり、社会に新たな繋がりをもたらすことを示唆します。本展が、そんな私たちの契機として、また明日以降のひとつの「結び目」となることを願っています。

【開催概要】

会場：武蔵野美術大学 市ヶ谷キャンパス（東京都新宿区市谷田町 1-4）

会期：2026 年 1月30日（金）～2月1日（日）

時間：10:00-20:00（最終入場 19:30）

入場料：無料（事前予約不要）

特設サイト：<https://musabiciclgs26.studio.site/>

Instagram：https://www.instagram.com/cicl_sotsuten/

出展者：

造形構想学部 CI 学科 卒業予定者 約 80 名

大学院造形構想研究科 CL コース 修了予定者 約 30 名

アクセス：

JR 中央・総武線「市ヶ谷」駅下車 徒歩 3 分

東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」駅、都営新宿線「市ヶ谷」駅 4 番出口下車 徒歩 3 分

※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

【主任教授コメント】

市ヶ谷キャンパスで開催される卒業・修了展も 4 回目を数えます。

「Institute of Innovation」が開設されてから 6 年がたとうとしています、クリエイティブイノベーション学科、大学院クリエイティブリーダーシップコースともによりやくわれわれならではの研究・作品が見えてきたように思います。

そこに並ぶのは、最適解としての成果物ではなく、問いを立て、手を動かし、社会と往復するなかで形になった思考の痕跡です。その一つひとつが、私たちの実践の質を物語っています。

ぜひ次のフェーズへ進もうとしているわれわれのアウトプットを会場で確認してください。

武蔵野美術大学 造形構想学部 クリエイティブイノベーション学科 主任教授

長谷川敦士

【卒業・修了展をより楽しむために】

■ 作品の理解を深める「公開講評」

講評とは、美術大学ならではの評価方法のひとつで、制作した作品について教員や学生同士が意見を交

わし、思考や表現を深めていく場です。来場者にも公開される講評を通して、CI 学科/CL コースの学生が制作した作品への理解をより深めていただけます。

今年度の卒業・修了展では、石川ゼミ・岩崎ゼミ・長谷川ゼミ・丸山ゼミの4ゼミによる公開講評を実施予定です。

各講評の開催時間や会場などの詳細情報は、卒業・修了展公式 Instagram にて随時発信していきますので、ぜひご確認ください。

武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス卒業・修了展 公式 Instagram :

https://www.instagram.com/cicl_sotsuten/

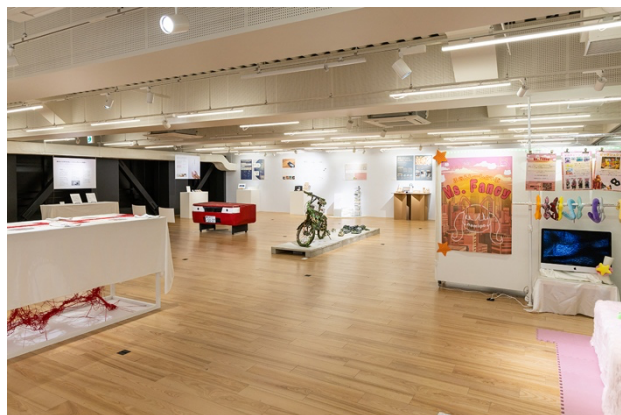
■ コンセプトに沿った展示空間

会場では、迫力あるメインビジュアルやフロアマップをはじめとした展示空間の装飾を、卒業・修了展全体のコンセプトに基づき統一感のあるデザインで構成しています。

今年度の卒業・修了展の世界観をより深く体験していただけるよう、空間全体でコンセプトを表現しました。

ぜひ学生一人ひとりの作品とあわせて、展示空間そのものもひとつの表現としてお楽しみください。

【昨年の展示風景】



武蔵野美術大学について



Musashino
Art
University
1929-2029
100th
美はつづく。

本学創立 100 周年事業シンボルマーク・コンセプト

2029年に100周年を迎える武蔵野美術大学は、1929年に創立された「帝国美術学校」を前身とし、「教養を有する美術家養成」「真に人間的自由に達するような美術教育」を教育理念に掲げ、幅広い教養と人間性を有する造形各分野の専門家を養成し、文化の創造発展と社会貢献に寄与してきました。

造形学部と造形構想学部の2学部、絵画、彫刻からデザイン、建築、映像、芸術文化、そして社会イノベーションまで、美術・デザインの広がりに対応する12学科を有し、大学院には造形研究科、造形構想研究科を設置しています。また70年以上の実績を持つ通信教育課程も設けています。日本を代表する美術・デザイン大学として、これまで社会に輩出した卒業生は7万6,000人に上ります。

造形活動を通じて身に付く、正解のない問をたて、探求し、答えを表現する能力は、今の時代にこそ最も必要とされています。卒業生は美術家、デザイナー、建築家、映像作家など、造形各分野の専門家として活躍するとともに、培った創造性、コミュニケーション能力が高く評価され、多くの業界で日本及び世界有数の企業へ就職し、重要な役割を担っています。

武蔵野美術大学 web サイト：<https://www.musabi.ac.jp/>

〈本件に関するお問い合わせ先〉

武蔵野美術大学 市ヶ谷キャンパス事務室

ichigaya_campus@musabi.ac.jp